

令和8年2月13日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（スタートアップ運営補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 日本救急医療普及協会
代表者職・氏名 代表理事 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

設立年月日	R7年 1月 1日
今年度の事業について	<p>(実施した事業の内容)</p> <p>一次救命処置や応急手当の啓発活動を以下の通り行った。</p> <p>1、一次救命処置の講演会開催 日時：令和7年8月17日（日） 13時30分～16時00分 場所：上戸田地域交流センターあいパル3F研修室 対象：どなたでも 周知：戸田市公式 SNS、当協会公式 SNS 内容：当協会作成のパワーポイントを用いて一次救命処置に関する座学を行い、訓練用マネキンを用いて実技を行った。 講師：座学・実技 当協会会員</p> <p>2、戸田ふるさと祭りでの応急手当体験イベント 日にち：令和7年8月30・31日（2日間①） 場所：戸田市役所敷地内 日本救急医療普及協会ブース 周知：当協会公式 SNS 内容：一次救命処置の実技体験を行った（10分程度） 約250人が参加 担当職員：当協会会員 その他3名のボランティア</p>

	<p>(事業の成果)</p> <p>一次救命処置の講演会では、9名の方に参加いただき、応急手当の知識をつけていただいた。</p> <p>実技面では、参加者に当協会が定める一定の技量に到達するまでしっかりと身に付けていただき、「自信をもって対応できる」などというお言葉も頂いた。</p> <p>また、公式のスライドが「わかりやすい」などのお言葉を頂いた。途中質疑応答の時間を設けたことによって、参加者の疑問などにもサポートができるようになった。</p> <p>当協会が作成したシナリオも使用することによって、臨床的な部分もカバーし身につけやすい講習を行えた。</p> <p>応急手当体験イベントでは、200名を超える方々に応急手当の普及を行った。</p> <p>参加者の中には、幼稚園児～高齢者まで様々な年代の方に興味をもらっていただくことができた。</p> <p>小さいお子さんを持つ方には乳幼児の窒息解除の仕方を教えてほしいというお言葉もあり臨機応変に対応することができた。</p>
<p>中期的な運営計画</p>	<p>日本救急医療普及協会では、中期的な活動計画として以下の通り報告する。</p> <p>① 若年層に対する救急医療意識調査</p> <p>救急医療に対する基盤整備・意識調査の一環として戸田市内の中学生・高校生・大学生を中心に意識調査を実施する。</p> <p>調査の内容として、応急手当の理解度、AEDの認知度、救命講習受講歴などとし、オンラインアンケートの下で回収を行う。</p> <p>得られたデータは、分析し地域における若年層の救急医療理解度を明らかにする報告書としてまとめ、救命率の向上を目指していく。</p> <p>② 救命講習・応急手当体験イベントの実施</p> <p>令和7年度に続き、同様に救命講習・応急手当体験イベントを実施していき市民の応急手当の重要性を呼び掛けていく。</p>

《収支報告書》

【収入】

(円)

科目		予算額 ①	収入額 ②	比較 (②- ①)	内訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	35,672	△14,328	
	その他	0	0	0	
自己資金		20,000	0	△20,000	
会費（参加費等）		0	0	0	
利用者負担金（売上等）		0	0	0	
協賛金・寄附		0	0	0	
その他		0	0	0	
合計		70,000	35,672	△34,328	

【支出】

(円)

	科目	予算額 ①	支出額 ②	不用額 (①-②)	内訳
補助 対象 経費	消耗品費	19,050	4,288	14,762	文具、紙、資器材管理関係
	使用料	34,020	30,000	4,020	戸田市ふるさと祭り出店料
	委託費	10,000	0	10,000	草稿が間に合わなかったため。
	印刷製本費	6,930	1,384	5,546	印刷代
	小計	70,000	35,672	34,328	※支出額内訳 補助金充当額：35,672 自主財源：0
補助 対象 外 経費					
	小計	0	0	0	
合計		70,000	35,672	34,328	

ボランティア 被災者支援

